



担 当：近畿中国森林管理局 企画調整室長 近藤
連絡先：大阪市北区天満橋1-8-75
TEL 050-3160-5682（企画調整室）
メールアドレス kc_kikaku@rinya.maff.go.jp
ホームページ http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/

平成22年4月26日

～平成22年度近畿中国森林管理局重点取組～

近畿中国森林管理局は、民有林の関係者との一層の連携を図りつつ、地球温暖化防止や生物多様性の保全をはじめとする国民のニーズに応えた多様で活力ある森林の整備や木材の安定供給に積極的に取り組みます。

また、地域からの信頼、国民の幅広い理解と支援を得るよう努め、開かれた「国民の森林」の実現に向けて局・署等が一体となって取り組みます。

1 計画的な木材供給の推進

京都議定書の森林吸収量目標の着実な達成に向けて、間伐をはじめとする森林整備を積極的に推進します。また、これに伴い伐採される間伐材等について、システム販売、委託販売を通じた安定供給と利用拡大を推進します。

○地球温暖化防止対策の推進・間伐等の重点的な推進

・京都議定書の第1約束期間（平成20～24年）における森林吸収量目標である1,300万炭素トンの確実な達成に向けて、間伐をはじめとする森林整備を積極的に推進します。

平成22年度は、約8,400haの間伐を実施します。



【列状間伐による森林整備】

○安定供給のためのシステム販売の推進

・間伐材等の安定供給と利用拡大を図るため、企画競争により選定した製材工場等に対し安定的に販売する「システム販売」を推進します。



【委託販売の状況】

○素材等の販売委託による有利販売

・木材市場等への委託販売材については、市況動向を把握し、特産樹種等の高付加価値材について、より高値となるよう効果的な販売に努めます。

2 森林施業の効率化・共通化等の取組

民有林と連携して適切な森林整備と森林資源の有効活用を促進するため、地方公共団体等との森林整備協定を締結し、森林共同施業団地の設定による民有林・国有林一体的な路網整備等を積極的に推進します。

また、歴史・文化的景観に配慮した地域における取組や木の文化継承等に貢献するための取組に努めます。

○民有林と連携した森林共同施業団地の設定

・国有林と隣接する民有林の所有者と協定を結び、民有林と国有林が連携して森林共同施業団地を設定し、路網の整備や高性能林業機械を活用して効率的な森林整備を実施します。



【兵庫県宍粟市における協定締結調印】

○低コスト路網生産システムによる森林整備

・平成20年度に策定した「低コスト路網生産システム導入指針」に基づき、列状間伐や路網と高性能林業機械を組み合わせた効率的な間伐材の生産の取組の普及・定着を進めます。



【高性能林業機械による木材の生産】

○歴史を未来へつなぐ森林づくり

・世界文化遺産の所在する京都、奈良、紀伊山地、宮島の国有林において、「世界文化遺産貢献の森林」を設定しています。これらの森林において、木造文化財等の修復に必要な資材（^{ひわだ}檜皮など）の供給、木造文化財等との一体となった景観の保全に努めます。

・主要樹種であるアカマツやヤマザクラが減少するなど往時の姿が大きく変化しつつある嵐山国有林について、平成21年度に地元関係者、専門家も参加して「嵐山国有林の今後の取扱い方針」を作成しました。今後も地元関係者及び専門家の協力を得つつ、嵐山国有林の適切な管理・保全を実施します。



【渡月橋と嵐山国有林】

3 林業技術の普及・啓発、林業事業者の育成

国有林のフィールドを活かし、民有林と連携した技術開発の取り組みとともに、低コストな森林整備等の検討会等に率先して取り組みます。

また、林業の担い手を確保するため、事業の安定的発注に努めるとともに、研修に必要なフィールドを提供します。

○低コスト造林への取組

・セラミック苗の植栽により作業の省力化に取り組むとともに、民有林の先導的役割を果たすため、民有林関係者とともに勉強会を実施します。



【セラミック苗】

○天然力の活用等による針広混交林化の推進

・自然的地理的条件等を考慮しつつ、人工林を針広混交林へ誘導するため、人工林内の広葉樹の天然生稚樹の発生・生育メカニズムの調査・解析に取り組めます。

○関係機関と連携した研究・調査、検討会の実施

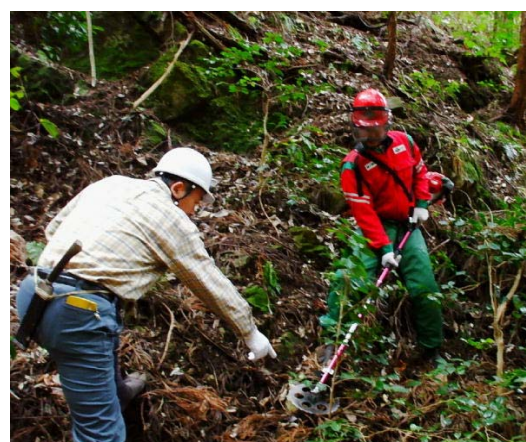
・低コスト造林や低コスト路網生産システムについて、国有林のフィールドを活用し、民有林と協力した研修会・検討会等を通じ、地域における技術者の育成を図ります。

○林業の担い手確保への対応

・林業労働力については、高齢化の急速な進行と後継者不足が問題となっています。このような中、事業の安定的な発注に努め、山村地域の活性化を図るとともに、国有林を緑の担い手対策事業などの研修フィールドとして提供します。



【低コスト路網生産システム現地見学】



【緑の雇用担い手対策】

4 安全・安心への取組

近年の局地的な豪雨の頻発や地震による大規模な山地災害の発生を踏まえ、地域と連携した減災対策など「犠牲者ゼロ」に向けた効果的・効率的な治山対策を推進し、地域の安全・安心の確保を図ります。

○地域と連携した整備の推進

・崩壊、落石などによる山地災害のおそれがある地域において、治山施設の設置とあわせ地域住民の山地災害に対する意識を高めるよう取り組みます。

嵐山国有林では、急峻な山腹に転石等が見られ、観光客等への落石等のおそれがあることから、地域からの意見を取りまとめて、平成22年度から落石防止等の対策に取り組みます。



【嵐山国有林内における落石防止等の検討】

・近接した国有林・民有林について、森林管理局と府県が連携して治山対策を行う「特定流域総合治山事業」を実施します。

○間伐材等木材利用の推進

・森林土木事業の実施に当たっては、土木構造物の資材や型枠等に間伐材などを利用した工法を適用するなど、木材利用を推進します。



【間伐材を利用した谷止工】



【間伐材を利用した山腹工】

5 生物多様性保全に配慮した取組の推進

原生的な天然生林や 貴重な野生動植物が生息・生育する森林について 適切に保全・管理を図るとともに、人工林において間伐、複層林化、針広混交林化による多様で健全な森林の整備・保全に努めます。また、野生鳥獣の保護管理と森林への被害対策を一体的かつ効率的に進めます。

○野生鳥獣との共生を目指した森林づくり「緑の回廊」

・保護林を連結し、野生動植物の生息・生育地の拡大と相互交流を可能とする「緑の回廊」を、白山山系、越美山地、東中国山地に設定しています。これらの「緑の回廊」において、動植物の観察会やモニタリング調査等を実施するとともに、東中国山地において、ワークショップを開催等し、民・国連携による共生の森づくりを進めます。

○野生鳥獣による被害森林の保護・再生事業の推進

・ニホンジカの増加などにより、森林の衰退が進行している大台ヶ原地域の大杉谷国有林において、関係者の連携により、森林の再生及び保全のための取組を実施します。

また、カワウによる被害が拡大している琵琶湖岸の伊崎国有林の被害森林の再生を推進します。



【大台ヶ原のシカ被害】

○グリーンサポートスタッフによる巡視等

・来訪者が増加・集中する世界遺産周辺や百名山等の植生荒廃等を防止するため、グリーンサポートスタッフによる巡視や来訪者への普及・啓発活動を実施します。



【グリーンサポートスタッフによる巡視活動】

○オオクワガタの棲める森づくり

・広葉樹の育成や菊炭づくり体験等を通じ、多様性豊かな里山の再生と生物多様性の向上を目指す「箕面体験学習の森」において、かつての里山林を整備するため、ヒノキ・スギ林からコナラなどの落葉広葉樹への転換により、「オオクワガタの棲める森づくり」を目指します。

6 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動

森林づくりに関心を寄せる多くの市民や企業などが気軽に活動に参加できるよう多様な取組を推進するとともに、未来を担う子ども達が、森林・林業に関する理解を深め、自らの生きる力を育むことにもつながる森林環境教育の取組を進めます。

また、地域や市民団体との共催によるふれあいイベントの開催やNPOや企業等による森づくり活動の支援に取り組みます。

○森林ふれあいイベントの取組

・「国民の森林^{もり}」としての管理経営に資することを目的として実施するイベントについて、幅広い国民との連携強化を図る「ふれあいイベント」となるよう努めます。

(主な実施予定イベント)

- ・水都おおさか森林^{もり}の市2010
- ・森と木の絵画コンクール
- ・グループ対抗里山デジカメ選手権



【水都おおさか森林の市】

○「森林環境教育プログラム」の普及

・森林環境教育プログラムを活用し、教育機関やNPOなど多様な主体と連携しつつ森林環境教育を推進します。

○森林ボランティア活動の支援

・森林ボランティアの活動フィールドとなる「ふれあいの森」の整備を進めるとともに、森林ボランティアリーダー養成スクールのフォローアップ等により、森づくりに関わるNPO等の活動を支援します。

○「法人の森林^{もり}」を活用したCSR活動の支援

・「法人の森林^{もり}」の設定や企業とNPOとの協働による森林づくりなど、国有林のフィールド提供を通じ、企業の森林づくり（CSR活動）への参加を積極的に支援します。



【法人の森林を活用した森林整備】

平成22年度の主な取組参考資料

○ 事業量と予算の概要	8
1 計画的な木材供給の推進	
○ 地球温暖化防止対策（森林吸収源対策）の推進	9
○ 計画的な木材の供給	10
2 森林施業の効率化・共通化等の取組	
○ 森林共同施業団地の設定	11
○ 歴史を未来へつなぐ森林づくり（世界文化遺産貢献の森林）	12
○ 歴史を未来へつなぐ森林づくり（檜皮採取対象林・文化財継承林）	13
3 林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成	
○ 低コスト造林の推進	14
○ 天然力の活用等による針広混交林化の推進	15
4 安全・安心への取組	
○ 地域の安全・安心の確保に向けた治山対策の推進	16
5 生物多様性保全に配慮した取組の推進	
○ 大台ヶ原地域（大杉谷国有林）における ニホンジカによる森林被害対策	17
○ 野生鳥獣のと共生を目指した森林づくり	18
○ グリーンサポートスタッフによる巡視等の実施	19
○ 「箕面体験学習の森」における 「オオクワガタの棲める森づくり」等の取組	20
6 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等	
○ 水都おおさか森林の市2010の開催について	22
○ 森林ふれあい推進事業の実施	23
○ 森と木の絵画コンクール	25
○ グループ対抗里山デジカメ選手権	26
○ 「法人の森林」を活用した企業のCSR活動の支援	27

主要事業量と予算の概要

1 主要事業

区 分	事 業 名	21年度 (最終見込)	22年度 (当初予定)	対前年比 (%)
健全で豊かな 森林づくり	地 拵 (ha)	86	93	108
	植 付 (ha)	69	75	109
	下 刈 (ha)	541	623	115
	除 伐 (ha)	745	448	60
	間 伐 (ha)	6,421	8,385	131
	つる切 (ha)	5	13	260
山地災害への 対応	治山事業(億円)	32.2	18.2	57
	うち 国有林野内	27.1	14.3	53
	うち 民有林内	4.9	3.9	80
森林整備に必 要な路網整備	林道新設(km)	2.5	0.9	36
	作業道新設(km)	35.9	38.6	108
木材の供給	収穫量(千m ³)	733.0	879.9	120
	うち 主 伐	37.7	93.3	247
	うち 間 伐	695.3	786.6	113
	素材販売量(千m ³)	100.1	94.0	94

2 収入・支出

(単位：百万円)

区 分	21年度 (最終見込)	22年度 (当初予定)	対前年比 (%)
収 入	1,561	1,508	97
支 出	(1,078) 8,187	(1,227) 7,876	96

注：() 書は、前年度からの繰越額、外書

地球温暖化防止対策（森林吸収源対策）の推進

地球温暖化防止対策については、京都議定書の第1約束期間（平成20年～平成24年）に入り、森林吸収量目標である1,300万炭素トンの確実な達成に向け、国自らが率先して森林吸収量の確保に最大限努めて行くこととしています。

このため、国有林としては、民有林の動向も踏まえ、森林吸収量の算定対象となる「適切な森林整備が行われている森林（FM林）」を効果的かつ確実に増やしていくことが重要な課題となっています。

このような状況を踏まえ、森林吸収量の算定対象となる森林を確実に実施していくために、間伐を主体に森林整備を推進します。

●森林吸収量の対象森林

考え方	具 体 的 な 森 林	
新規植林 再植林	1990年時点において、森林でなかった土地に植林等を行った森林	
森林経営 (FM林)	育成林	「森林を適切な状態に保つため1990年以降に行われる森林施業」が行われている森林
	天然生林	保安林、国立公園等に指定されている森林

※FM：ForestManagement

●平成22年度の近畿中国森林管理局の森林施業量

	平成21年度当初 (ha)	平成22年度計画 (ha)	対前年度比 (%)
除 伐	736	448	61
間 伐	7,800	8,385	108



【間伐前】



【間伐後】

問い合わせ先
 近畿中国森林管理局 企画官(間伐推進)
 担当：大賀
 TEL 050-3160-6767

計画的な木材の供給

1 林産物等の販売

平成22年度の木材販売量は、立木販売については96千m³、素材（丸太）販売については94千m³を予定しています。

販売に当たっては、集成材・合板工場や大手住宅メーカーへ納入している製材工場等、これまで主として外材を利用してきた大口の需要者に対して、原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」※を推進することにより、国有林の間伐材等の需要拡大に努めます。

このほか、インターネット等を活用し、迅速かつ広範囲に公売情報を提供したり、民間市場への素材販売の委託を行うなど樹材種の特質に応じた有利な販売や販路の拡大に努めます。

※システム販売の仕組み

- ・ 森林管理局長が公告
- ・ 製材工場等から企画提案書の提出
- ・ 申請書に基づく審査
- ・ システム販売の協定の締結
- ・ 協定に基づき、森林管理署等と製材工場等との間で、具体の物件について売買契約



2 平成22年度素材販売予定

(単位：m³)

署等名	委託販売	システム販売	計
石川署	200		200
福井署	200		200
三重署	5,200		5,200
滋賀署	1,250	450	1,700
京都大阪所	1,000		1,000
兵庫署	3,100	7,400	10,500
奈良所	800		800
和歌山署	5,700	1,200	6,900
鳥取署	3,400	3,600	7,000
島根署	7,100		7,100
岡山署	18,100	5,400	23,500
広島北部署	5,800	7,700	13,500
広島署	9,000	4,000	13,000
山口所	3,400		3,400
合計	64,250	29,750	94,000



問い合わせ先
 近畿中国森林管理局 販売課
 担当：仲村、荘司
 TEL 050-3160-6765

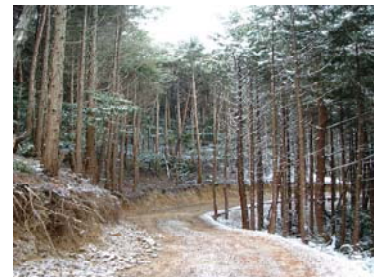
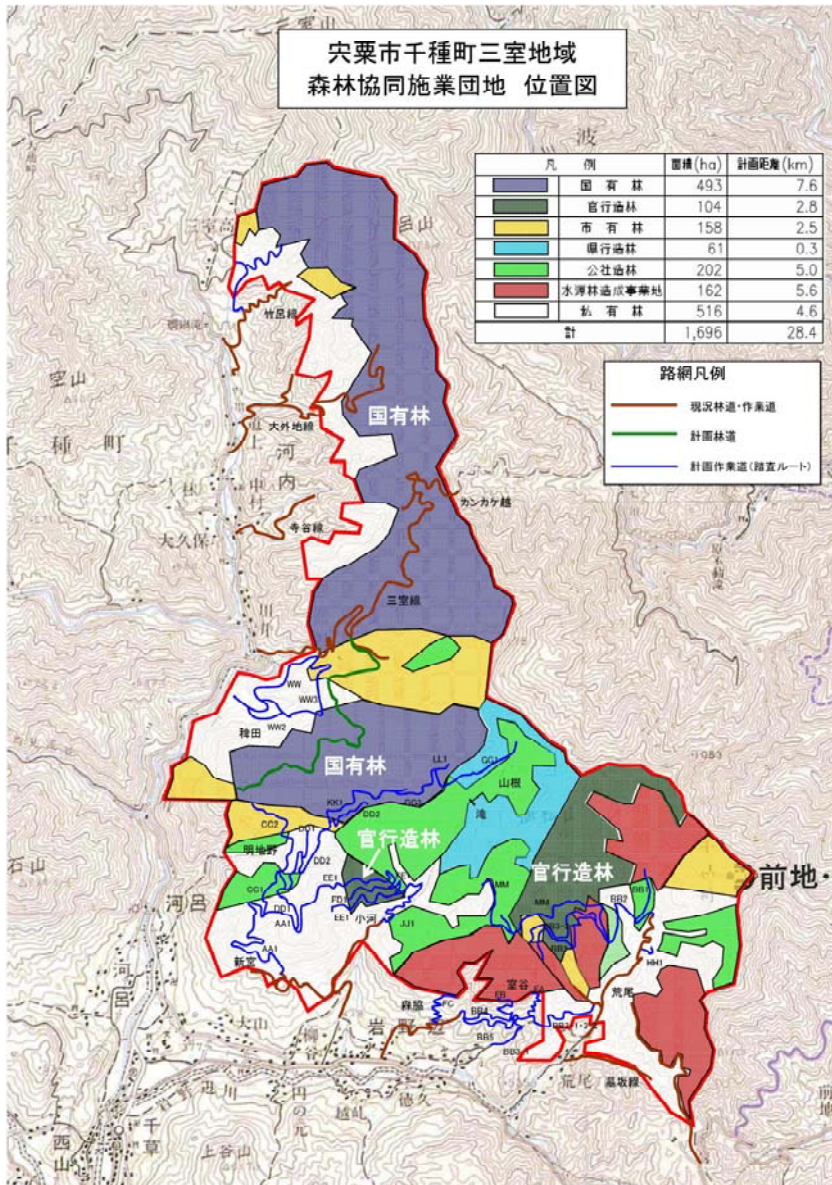
森林共同施業団地の設定

～効率的な路網整備と計画的な森林整備の推進～

兵庫森林管理署における取組

兵庫森林管理署は、平成22年3月、宍粟市において国有林と隣接する県有林、市有林、私有林、森林農地整備センター造林地等の所有者と協定を結び、森林共同施業団地（面積：1,696ha）を設定し、効率的な路網整備と計画的な森林整備等に取り組んでいます。

これまでは、各森林所有者がそれぞれ森林整備を行ってきましたが、共同施業団地を設定することによって、循環する路網の開設が可能となり、高性能な林業機械を使用した、より効率的な森林整備等が可能となります。



林内を循環する作業道



高性能林業機械による集造材

問い合わせ先
 近畿中国森林管理局 計画課
 担当：山口、竹井
 TEL 050-3160-6733

歴史を未来へつなぐ森林づくり

～世界文化遺産貢献の森林もり～

I 設定の目的等

当局管内には、全国の国宝を含む重要文化財の木造建造物の半数以上が所在するとともに、世界文化遺産に登録されている8件の「木造文化財建築物群」のうち6件が所在します。

これらの重要な歴史的木造建造物の維持、継承に資する観点から、世界文化遺産の周辺に所在する国有林を「世界文化遺産貢献の森林」に設定し、森林と文化財とのかかわり等を普及する象徴的・総合的な拠点ひわたとして、

- ①木造文化財等の修復に必要な檜皮や木材などの資材の供給
- ②木造文化財等と一体となった景観の保全
- ①もとかわし原皮師の養成等のためのフィールドの提供
- ④木造文化財等と森林のかかわりを学習する場としての活用

などに取り組みます。

※原皮師：檜皮ひわたぶき茸の材料となる檜皮を採取する人

II 設定箇所及び面積

1	京都市内の国有林(平成13年8月設定) 嵐山、銀閣寺山、高台寺山国有林等	713ha	} 4,778ha
2	宮島の国有林(平成13年8月設定) 宮島国有林全域	2,394ha	
3	奈良盆地周辺の国有林(平成13年12月設定) 地獄谷、野山国有林等	325ha	
4	紀伊山地の霊場と参詣道周辺の国有林(平成18年3月設定) 七里御浜、白谷山、御手洗国有林等	1,346ha	

III 景観保全のための嵐山国有林での取組

嵐山国有林は、京都市西部に位置しており、サクラとモミジの名所としてその名を全国に知られています。

これまで、「往時の嵐山の復活」を目指し、地元関係者との連携により、サクラやマツの植栽などの取り組みを行ってきましたが、必ずしも良好な結果となっていませんでした。

また、シカの増加など嵐山国有林を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。

このため、平成21年度に地元関係者と専門家による「嵐山国有林の取扱方針に関する意見交換会」を設置して、5回の会合を重ね、「嵐山国有林の今後の取扱方針」をとりまとめました。

今後は、この方針を踏まえて、地元関係者や専門家との意見交換を継続しながら、嵐山国有林の適切な管理・保全に取り組みます。



問い合わせ先
 近畿中国森林管理局 計画課
 担当：山口、倉石
 TEL 050-3160-6739

歴史を未来へつなぐ森林づくり

～^{ひわだ}檜皮採取対象林～

1 設定の目的

国宝・重要文化財等の伝統的建築物を後世に守り伝えていくためには定期的な修復が必要ですが、修復資材である檜皮や修復に携わる技術者・技能者が不足しており、文化財等の維持に支障をきたしています。

このため、不足している檜皮の量の確保及び安定供給に資するため、平成13年12月に「檜皮採取対象林」を設定（9府県に約260ha）し、檜皮の供給を行っています。

2 供給実績

平成14年度から供給を始め、平成21年度までに京都御所など1府11県、32の社寺仏閣などに60,621kgの檜皮を修復用資材として供給しています。

3 供給計画

平成22年度は、79haの対象箇所から檜皮の供給に努めます。

対象箇所

署等名	市町村名	国有林名
滋賀	野洲市	三上山
和歌山	那智勝浦町	妙法山
兵庫	姫路市	西通山
広島	三原市	仏通寺山・八坂山
〃	廿日市市	宮島
山口	岩国市	城山



【檜皮の採取状況】

～文化財継承林～



【ケヤキ：山口市 滑山国有林】

国宝・重要文化財等の歴史的木造建造物を後世に守り伝えていくためには定期的な修復が必要ですが、修復材のケヤキ、クスノキ等が不足してきています。

このため、将来の修復用材の確保・供給を目的として、国有林内に現存するケヤキ、クスノキ、クリの森林のうち大径材育成が見込める箇所を対象に、平成17年3月、「文化財継承林」を設定しました。

今後、歴史的木造建造物の修復に必要なケヤキ、クスノキ等について必要に応じて「文化財継承林」から供給することとしています。

設定 府県数	樹種別面積 (ha)			
	ケヤキ	クスノキ	クリ	計
11	92.87	6.84	2.00	101.71

問い合わせ先
 近畿中国森林管理局 計画課
 担当：山口、倉石
 TEL 050-3160-6733

低コスト造林の推進

木材の値段が低迷し、森林の伐採跡地への植栽ができず、放棄された伐採跡地が増加していることから、低コスト造林技術の開発、普及が課題となっています。

このような状況の中で、近畿中国森林管理局においては、低コスト造林の効果が期待できるセラミック苗による植栽を和歌山森林管理署、兵庫森林管理署の2署において実施します。

その際、民有林の先導的役割を果たすため、県、市町村、事業者等を対象として、勉強会を開催し、低コスト造林の普及を図ります。

● セラミック苗は、次のような特徴があります。

- ・ 植え付け作業が簡単で、1日当たりの植栽本数が多い
- ・ 軽く取り扱いがよい
- ・ 植栽時期を選ばない。
- ・ 誰でも簡単に植えられる。

(参考)

マルチキャビティ苗(コンテナ苗)は次のような特徴があります。

- ・ 植え付け作業が簡単で、1日当たりの植栽本数が多い
- ・ 成長がよい
- ・ 植栽時期を選ばない。
- ・ 誰でも簡単に植えられる。



セラミック苗



植栽の状況

問い合わせ先

近畿中国森林管理局 森林整備課

担当：松本、木村

TEL 050-3160-6775

天然力の活用等による針広混交林化の推進

～人工林に介在する天然生広葉樹の更新拡大メカニズムの検証～

1 趣旨

公益的機能をより高度に発揮させる観点から、自然的、地理的条件等地域の実情に応じて、人工林を複層林や針広混交林へ誘導していくことが課題となっています。

このため、人工林内にある広葉樹の樹下及び周辺の区域における天然生稚苗の発生・生育メカニズムを調査・解析します。

2 試験内容

人工林に自然に侵入したの広葉樹を保残した伐採跡地に試験地を設定し、広葉樹の保残状況(多い、少ない、ほとんどない)により3区域を設け、それぞれの区域毎に調査プロット(10箇所)を設定します。

3 調査内容

- ①伐採前の広葉樹の侵入状況を推測するための伐根調査等
- ②伐採後の母樹の密度・配置状況
- ③周辺の種子供給源の配置状況
- ④稚樹の発生・侵入状況
- ⑤発生稚樹の消長調査等

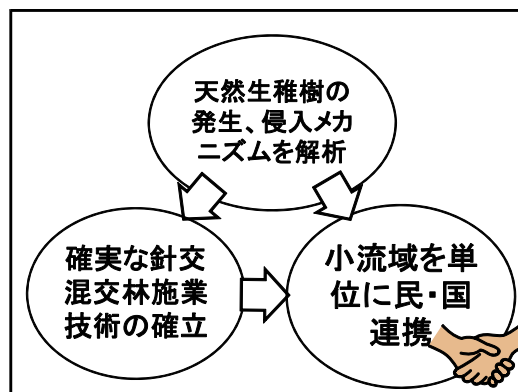
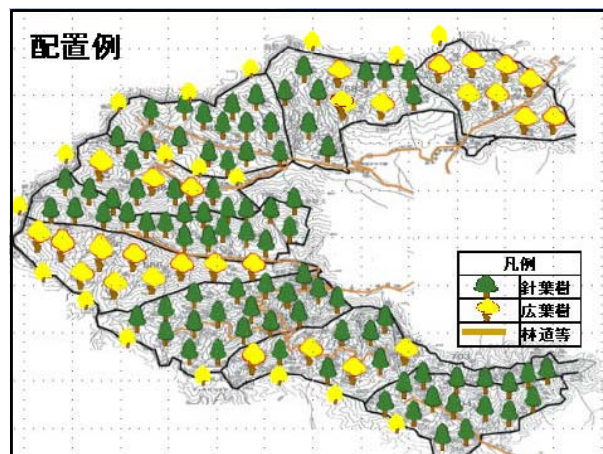
4 試験地概要

- ・岡山県北西部に位置する古谷国有林三室701い2林小班
- ・面積0.42ha
- ・伐採跡地(平成19年11月搬出)
- ・伐採前の林況は高木性広葉樹が混在したヒノキ林

5 実施主体

森林技術センター

(森林総研関西支所、岡山大学、岡山県林業試験場との共同研究)



問い合わせ先

近畿中国森林管理局

指導普及課

担当：藤井

TEL 050-3160-6751

地域の安全・安心の確保に向けた治山対策の推進

近年、局地的な豪雨が頻発しており、山地災害の発生が懸念されています。

このため、地域と連携した減災対策など「犠牲者ゼロ」に向けた効果的・効率的な治山対策を推進し地域の安全・安心の確保を図ります。

○民有林・地域と連携

- ・治山施設の設置等とあわせ地域住民の山地災害に対する知識を高めるなどにより、効果的な治山対策の展開を推進します。
- ・治山事業連絡調整会議を開催し、各府県との連携を強化し、特定流域総合治山事業の実施等により、流域単位に効果的な治山対策を推進します。



(嵐山生活環境保全整備事業地全景)



(地域住民参加等による現地検討会)

京都市西京区、桂川(大堰川)沿いに位置する嵐山国有林は急峻な山腹に転石等が見られ、直下の市道、観光客等への落石等のおそれがあります。このため、地域からの意見等を取りまとめ平成22年度より「生活環境保全林整備事業」に取り組みます。

○間伐材等の利用の推進

事業の実施に当たっては、土木構造物の資材や型枠等に積極的に間伐材を活用します。間伐材は、コンクリートに比べ生産過程における二酸化炭素の排出量が少なく、材自体にも炭素を貯蔵することから、環境負荷の軽減などの効果が期待できます。また、現地発生材を使用した工法にも取り組みます。



(景観を配慮しダム工に間伐材を利用しています。)



(苗木を海風・潮風から守るため間伐材を使用しています)

問い合わせ先
近畿中国森林管理局 治山課
担当：開藤、中村
TEL 050-3160-6756

大台ヶ原地域(大杉谷国有林)における ニホンジカによる森林被害対策

1. 趣旨

三重県と奈良県の県境に位置する大台ヶ原一帯では昭和30年代の大型台風の影響で、亜高山性針葉樹林（トウヒ・ウラジロモミ等）で大量の木が倒れたため、林内に多量の光が入り込み急速にミヤコザザが増加しました。また、ニホンジカの好適環境が出現することでニホンジカが増加し、その他の複合的な要因と併せ森林の衰退が進んでいます。

このため、関係行政機関、NPO等と連携して実証試験を行い、「大杉谷国有林におけるニホンジカによる森林被害対策指針」を作成するとともに、ニホンジカによる森林被害地における森林の再生及び保全のためのモデル事業を実施します。

2. 実施内容

- (1) 「大杉谷国有林におけるニホンジカによる森林被害対策指針検討ワーキングチーム」会合の開催（(2)～(6)の事業等に関する総合的な検証・検討）
- (2) 共同試験地の調査等
- (3) 森林の再生及び保全のためのモデル事業の実施（樹皮剥ぎ、稚幼樹の食害を防止するための樹木への金網巻き、パッチディフェンス(防鹿ネット)の設置等）
- (4) 森林環境教育プログラムの検討
- (5) 普及啓発の実施（自然観察路の作設）
- (6) 大杉谷国有林におけるニホンジカの生息状況及び森林被害の現況把握調査
 - ・ ラインセンサス調査
 - ・ 糞塊密度調査
 - ・ センサーカメラ調査
 - ・ ニホンジカによる森林植生衰退状況調査
 - ・ 固定プロット森林影響調査
 - ・ その他（雨量、気温等微気象の観測など）



3. 事業実施主体等

- (1) 主 体：筑面森林環境保全ふれあいセンター、三重森林管理署
- (2) 連携先：環境省、三重県、奈良県、大台町、紀北町、上北山村、川上村、(独)森林総合研究所林木育種センター関西育種場、宮川流域ルネッサンス協議会、NPO森林再生支援センター、NPO大杉谷自然学校

問い合わせ先
近畿中国森林管理局 指導普及課
担当：廣友
TEL：050-3160-6729

野生鳥獣との共生を目指した森林づくり 「緑の回廊」の適切な管理

1 趣 旨

孤立・分散している保護林同士を連結し、野生動植物の生息・生育地の拡大と相互交流を可能とし、より効果的に森林生態系の保護・保全を図ることを目的に設定している「白山山系」「越美山地」「東中国山地」の各「緑の回廊」については、モニタリングなどを通して、適切な管理に努めます。

また、「緑の回廊」の普及啓発と地域間連携を深めるために、東中国山地緑の回廊内において、ワークショップを開催します。

2 実施内容



【21年度のワークショップ（兵庫県新温泉町）】



【21年度のワークショップ（兵庫県新温泉町）】



【21年度のワークショップ（兵庫県新温泉町）】

問い合わせ先
近畿中国森林管理局 指導普及課
担当：藤本
TEL：050-3160-6785

グリーンサポートスタッフによる巡視等の実施

I 事業の趣旨

地球温暖化防止対策については、京都議定書の発効を踏まえ、「京都議定書目標達成計画」が定められました。

このような中、従来から巡視等の実施を通じて保安林等の適切な保全・管理を推進してきましたが、近年、自然性の高い天然生林において、来訪者の増加や登山利用の集中化・大衆化等に伴い、人為による植生荒廃や森林機能の低下が見られるようになってきています。

このような状況を踏まえ、二酸化炭素の吸収源として参入される天然生林の確保に資するよう、非常勤職員（以下「森林保護員」という。）を活用してきめ細かな保全管理対策を実施し、人為による植生荒廃等の防止に努めます。

II 事業の内容

1 森林保護員の雇用によるきめ細かな保全管理活動

来訪者の増加や登山利用の集中化等に伴う植生荒廃等を防止するため、森林保護員（愛称「グリーン・サポート・スタッフ」）を雇用し、巡視等を行います。

なお、入込み等の実態に応じ、森林官等による巡視を補う効果的なものとなるよう、登山利用の最盛期や休日等に重点をおいて実施します。

2 来訪者等への指導・啓発

看板の設置やチラシの配布等により入込利用者への指導・啓発活動を実施します。

3 実施箇所、実施時期

世界遺産周辺や百名山及び大都市周辺地域において実施します。（具体的には下表のとおり）



【高野山国有林での活動状況】

署 等	国 有 林	実 施 時 期
石 川	蛇谷、大汝、釈迦ヶ岳ほか	6月から10月
福 井	経ヶ岳、平泉寺、赤兎山、荒島ほか	4月から11月
三 重	大杉谷	5月から11月
京都大阪	嵐山、東山、高台寺山、箕面ほか	5月から3月
奈 良	鳴川山、伯母谷ほか	5月から2月
和歌山	高野山、那智山、権現山、御手洗	4月から3月
鳥 取	大山	4月から11月

問い合わせ先

近畿中国森林管理局

国有林野管理課

担当：福本

TEL 050-3160-6792

「箕面体験学習の森」における 「オオクワガタの棲める森づくり」等の取組

1. 趣 旨

大阪府の北部に近接する箕面国有林を含む北摂地域は、かつて台場クヌギを仕立てて菊炭を生産するなど、活発な里山の利用が行われていましたが、現在では、スギ、ヒノキの人工林が大半を占めています。

このため、積極的な広葉樹の育成や伐採等による木材利用及び菊炭づくり体験等、子どもたちを対象とした森林環境教育のフィールドとして活用しつつ、多様性豊かな里山の再生と生物多様性の向上に資するため、「エキスポ'90みのお記念の森」を含む約27haを目的に応じゾーン分けし、「箕面体験学習の森」の整備を進めています。

特に、「箕面体験学習の森」の中心にある展望台周辺において、箕面市内の小学生、幼稚園児、ボランティア等、住民参加のもと、スギ、ヒノキの人工林からクヌギ、コナラなどの落葉広葉樹林への転換を図ることで、かつての森を再生する「オオクワガタの棲める森づくり」に取り組みます。



1年間育てたドングリの苗木を植える幼稚園児

2. 事業内容

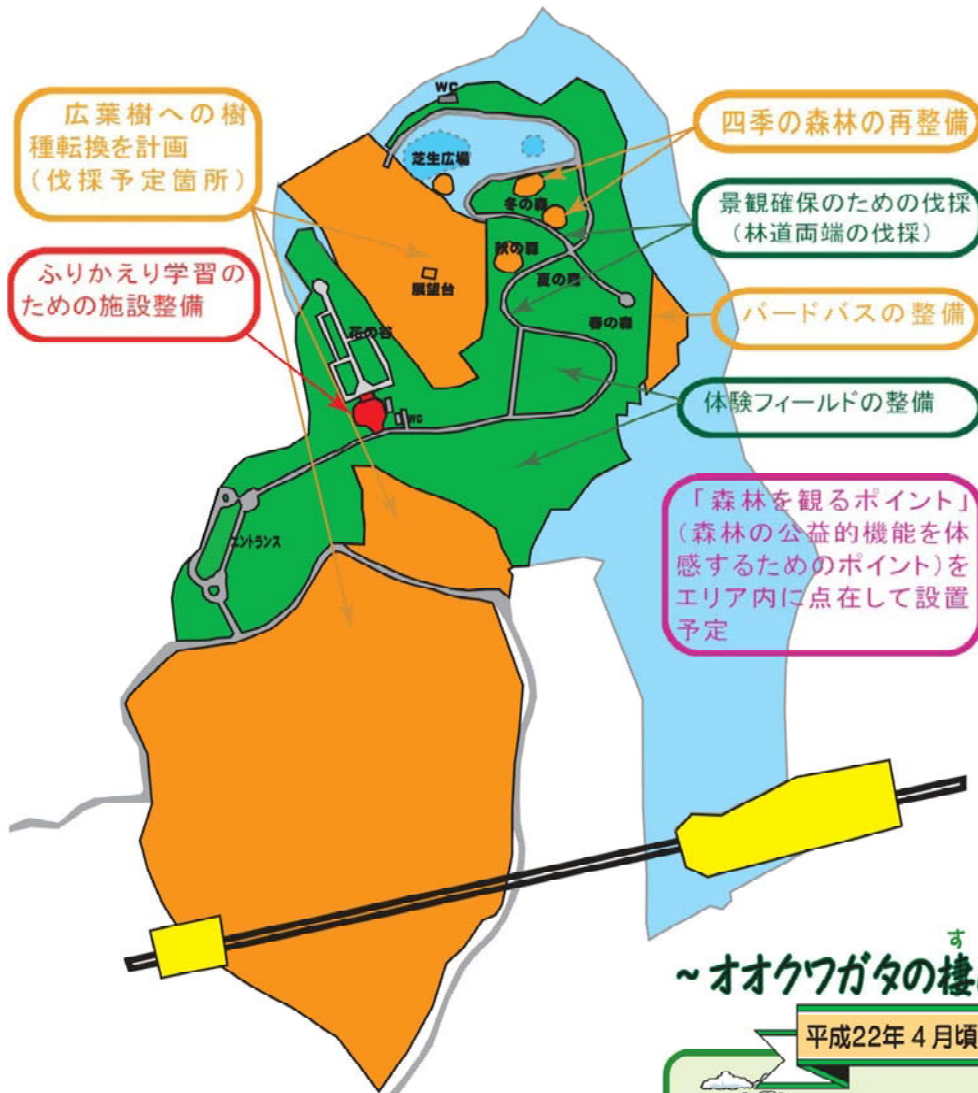
- (1) 「箕面体験学習の森」整備事業(Ⅱ)検討委員会の開催
有識者、関係行政機関、教育関係者、地域住民、ボランティア団体からなる検討委員会を設置し、当事業の実施内容の検討・検証等の実施
- (2) 「オオクワガタの棲める森づくり」の実施
 - ・ボランティア団体による植樹箇所への防鹿柵等の設置
 - ・小学校、幼稚園、ボランティア団体、地域住民等、市民参加によるクヌギ、コナラなどの苗木育成及び植樹や下刈りなど保育作業の実施
 - ・昆虫等動植物の生息環境の整備
- (3) 森林づくり活動により生産された木質資源の活用及び森林環境教育支援活動等の実施

3. 事業実施主体等

- (1) 主体
箕面森林環境保全ふれあいセンター、京都大阪森林管理事務所
- (2) 連携相手方
大阪府、箕面市教育委員会
明治の森箕面自然休養林管理運営協議会

問い合わせ先
近畿中国森林管理局 指導普及課
担当：廣友
TEL：050-3160-6729

「箕面体験学習の森」整備事業位置図



凡例	
	野外活動ゾーン
	林業体験ゾーン
	里山体験ゾーン
	青空教室エリア



す ~オオクワガタの棲める森づくり~



水都^もおおさか森林の市2010の開催について

～地域に根ざし、子ども達に豊かな森林を残すことをめざして～

I 事業の趣旨

森林は、林産物の供給だけでなく国土の保全や水源のかん養、地球温暖化防止など多面的な機能を有しており、それを持続的に発揮させていくためには、従来にも増して森林・林業に関わる人々や、地域の多くの人々の連携・協力が必要となっています。

このため、近畿中国森林管理局が立地する天満・桜ノ宮地域の人々をはじめ、森林・林業・河川や水、あるいは森林環境教育にかかわりのある人々の主体的な参画・協力の下、「水都おおさか森林の市2010」を開催します。

II 事業の内容

- 1 開催期間 平成22年10月9日(土)・10日(日)
- 2 開催場所 近畿中国森林管理局・大阪アメニティーパーク及び周辺地域(毛馬桜之宮公園の一部を含む)
- 3 主催 水都おおさか森林の市2010実行委員会(近畿中国森林管理局及び国や地方の行政機関、木材関連団体、企業、住民団体、森林に関するボランティア団体やNPO法人等で構成)
- 4 後援・協力 国、地方行政機関、民間企業・法人、地域住民団体、森林関係NPO、報道機関等
- 5 主な催し 行政機関、地域団体、森林・林業に関わる団体、木材産業等の民間企業、森林に関するNPO団体、森林インストラクター会等の主体的な出展・出演によるイベント
- 6 来場者目標 30,000人

【「水都おおさか森林の市2009」の実施状況】



オープニングセレモニー



来場者で賑わう森林の小道



キットハウスの組立体験



ドラゴンボートの乗船体験



使用済天ぷら油で走るカート



大阪すみよし少女少女合唱団

問い合わせ

事務局：近畿中国森林管理局 指導普及課 担当：緑の普及係
TEL：050-3160-6753 FAX 06-6881-3564 草野

森林ふれあい推進事業の実施

～人と森林とのふれあいの場を盛りだくさんに～

I 事業の趣旨

森林に対する国民の要請が多様化する中で、都市住民等に対し、森林空間等を利用した森林とのふれあいの場を提供することが重要な課題となっています。

このため、国有林野等において、都市住民や子供たちに自然に親しみ、遊び、学ぶ喜びを感じてもらえるよう、子どもも参加できる内容を盛り込み「森林ふれあい推進事業」を実施します。

II 事業の内容

1 森林とのふれあいを希望する方を募集し、森林に対する理解が深められるよう、次に掲げるイベントを行います。

- (1) 森林浴、学術上貴重な森林の見学、野鳥・植物観察等の森林と親しむ活動
- (2) 植林、育林、伐採、きのこ栽培、炭焼き、木材加工等の体験活動
- (3) 森林教室、林業・製材工場の見学等の学習活動

2 平成22年度の森林ふれあい推進事業のイベントは、近畿中国森林管理局管内で、実施団体、実施計画を公募により募集し、業務委託により4回実施します。

【 平成21年度の実施状況 】



大坂城の不思議—資材と建築—
(大阪市中央区)



夏休み木工教室
(近畿中国森林管理局 森林のギャラリー)



比叡山の紅葉と歴史に親しむツアー
(滋賀県)



俵藤太のムカデ退治で有名な近江富士
(滋賀県野洲市)

問い合わせ先
近畿中国森林管理局 指導普及課
担当：緑の普及係 草野
TEL：050-3160-6753

平成22年度 近畿中国森林管理局 森林ふれあい推進事業実施計画

主催者名	イベント名	実施場所	実施年月日	イベント実施団体	イベントの内容	集合解散の場所及び時刻	参加費	募集定員	備考
森林近畿中国管理局	【第1回】千石平国有林笹ヶ峰エコツアー（一般向き）	千石平国有林（三重県松阪市飯高町）	5月15日（土）	NPO 法人大杉谷自然学校	台高山系の縦走路にある明神平から明神岳・笹ヶ峰へ。シロヤシオの花やブナ・ミズナラなどの美しい新緑を楽しみながら歩く。	集合：近鉄榛原駅 8：00 解散：近鉄榛原駅 17：30（予定）	大人 7000円	20名	弁当代込み 保険料込み ※最小催行人数14名
〃	【第2回】南北朝繚乱の山・金剛山～大阪最高峰の森を歩く～（親子参加可）	金剛山頂周遊コース～金剛山国有林（大阪府千早赤阪村・奈良県御所市）	9月23日（木・祝）	大阪森林インストラクター会	金剛山頂の周遊コースや国有林を森林インストラクターと一緒に歩き、自然観察と南北朝時代の歴史にも触れながらハイキングを楽しむ。	集合：金剛山又は千早岬岬前（どちらも同じ場所です） 10時 解散：17時頃	大人 2000円 小中学生 1000円	30名	弁当各自持参 資料代、保険料込 ※金剛山ロープウェイ代は含みません ※南海電鉄では、山頂までの往復割引きキップあり。
〃	【第3回】神峰山の森の植物観察と楽しいクラフト体験（親子参加可）	本山寺山国有林 楊梅山国有林 都市近郊林 神峰山の森（大阪府高槻市）	10月24日（日）	NPO 法人大阪植物観察会	「じっくり植物観察」と「楽しいクラフト体験」の2コースに分けて実施 午前中、両コース共通—神峰山の森の植物観察 午後、国有林への往復コースと木の実や枝を使ったクラフト体験の2コースに分かれる。	集合： バス停「神峰山口」 10時 又は「神峰山の森」 10時半 解散：神峰山の森で 15時半ごろ	大人 500円（中学生以上） クラフト材料 200円（親子とも）	植物観察コース 30名 クラフトコース 20名	弁当各自持参 資料代、保険料込み ※両コースとも雨天中止
〃	【第4回】「黒蔵谷森林生物遺伝資源保存林」を望む熊野の森秘境エコツアー	黒蔵谷国有林・大杉小屋国有林（和歌山県田辺市）	11月21日（日）	熊野百間溪谷自然学校	明治における安川水力発電所跡とせぎの跡などを見学し、熊野の林業の歴史を学ぶ。 「森林生物遺伝資源保存林」や、「ソハヤキ」要素を含む多様な植生を観察し、「生物多様性」について考えながら、秋の熊野の森を楽しむ。	集合：JR紀伊田辺駅前 午前7時30分 カモン館駐車場 午前8時10分 解散：JR紀伊田辺駅前 午後5時 カモン館駐車場 午後4時30分	大人 5000円 中学生以下 4000円	30名	保険料込み 弁当代別途必要（1000円） ※夕暮れが早いので集合時間が早くなっています。 ※前泊・後泊の希望受付あり ※最小催行人数は15名

森と木の絵画コンクール

～子どものこころを育む森林とのふれあい～

I 事業の趣旨

都市に住み、自然にふれあう機会の少ない子どもたちに、自然にふれたり、森や木の姿を観察しながら絵画に取り組んでもらいながら、自然を大切にする心を育むことを目的として、昨年に引き続き「森と木の絵画コンクール」を開催します。

II 事業の内容

1 事業内容

- ・大阪市立の小学校約300校の児童を対象として、夏休みに「森と木」をテーマに絵画に取り組んでもらいます。
- ・入賞作品の発表は、近畿中国森林管理局のホームページ上で行います。

2 募集期間

6月～9月上旬

絵画コンクール審査 洋画家 山田倫子氏 ほか

【平成21年度の主な入賞作品】



1年生の部 金賞



2年生の部 金賞



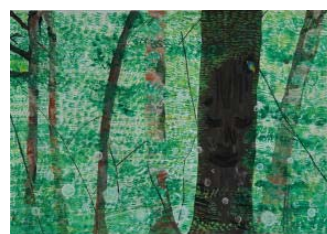
3年生の部 金賞



4年生の部 金賞



5年生の部 金賞



6年生の部 金賞

問い合わせ先

近畿中国森林管理局 指導普及課 担当：緑の普及係 草野

TEL : 050-3160-6753 FAX 06-6881-3564

グループ対抗里山デジカメ選手権

1 趣 旨

里山の再生・整備活動の促進やそれを通じた森林環境教育の推進に資するため「グループ対抗里山デジカメ選手権」を実施します。

本選手権は、学校、森林ボランティア、企業、家族などがグループ共同作業によって創作したデジタル写真作品を広く募集し、優れた作品を顕彰するものです。

今年度のテーマは、「身近な森林(もりの)再発見」とし、3枚の写真1組を1作品として、里山に代表される身近な森林の中に暮らす動植物や森林づくり活動、森林環境教育活動などの一瞬を切り撮ったもので、単に映像の美しさにとどまらず作品に込められたメッセージ性も重要視して実施します。

2 事業内容

(1) グループ対抗里山デジカメ選手権

① 募集期間 6月～9月下旬 (NGO里地ネットワーク、滋賀県立琵琶湖博物館、大津市教育委員会等との連携により、全国規模で募集)

② 公開審査：11月13日(土)

滋賀県立琵琶湖博物館ホールにて各

グループの代表が、応募作品について審査員と一般公募参加者に対して3分間スピーチを行う。

③ 森林・里山・林業特別展示会

最終審査前後、琵琶湖博物館の特別展示室にて展示会を開催し、広く一般市民の参加を促進する。

(2) 入選作品、応募作品の展示

森林管理局、各森林管理署等での展示に加え、近畿農政局消費者の部屋、京都中央郵便局、ボランティア団体と連携し、各地において入選・応募作品を展示



問い合わせ先
近畿中国森林管理局 指導普及課
担当：廣友
TEL：050-3160-6729

「法人の森林^{もり}」を活用した企業のCSR活動の支援

近年、地球温暖化防止等の環境問題などを背景として、企業の社会的責任（CSR）に対する関心が高まっています。

このような中、企業のCSR活動の一環として、森林の整備や保全活動を通じて社会貢献活動を展開したいとする企業の潜在的ニーズに応えるため、「法人の森林^{もり}」制度を活用し、国有林のフィールドにおける「企業の森林づくり」への参加を積極的に支援します。

◆法人の森林^{もり}とは

企業の皆様と国が共に森林を造成・育成し、伐採後の収益を一定の割合（契約者7：国3）で分け合う制度で、以下の「分収育林」と「分収造林」の2つがあります。

分収育林

国有林において育てている途中の森林について、持ち分の対価、保育管理の諸費用を企業の皆様に負担していただき、樹木を共有して育てる制度です。

○要件等

- ・面積：3ha以上
- ・契約期間：概ね20～最長60年間まで
- ・経費：数百万円程度～
- ・対象とする森林：人工林18年生以上、天然林

分収造林

国有林の土地に企業の皆様が費用を負担していただき造林、保育を行う制度です。

○要件等

- ・面積：1ha以上
- ・契約期間：概ね50～最長80年間まで
- ・経費：1haあたり数百万円程度
- ・対象とする森林：伐採した跡地など



【法人の森林を活用した森林整備】

「法人の森」ではこんなことができます。

- 会社のホームページや環境報告書など環境問題に取り組んでいる企業姿勢をアピール
- 会社の名称、森林造成の趣旨などを掲げた看板の設置
- あずまや、ベンチなどの設置、遊歩道の整備
- 記念行事としての植栽、下刈り等の作業体験、森林浴

問い合わせ先
近畿中国森林管理局
国有林野管理課
担当：市原
TEL 050-3160-6789